

事業課の事業概要

【水産】

栽培漁業センター（大島町）

奥多摩さかな養殖センター（奥多摩町）



【畜産】

青梅畜産センター（青梅市）

有機農業堆肥センター（青梅市）



栽培漁業センター事業 (都受託事業)

【種苗生産業務】

- ・ アワビ、サザエ、フクトコブシの種苗生産・配付

【研究業務】

- ・ 種苗の生産技術開発

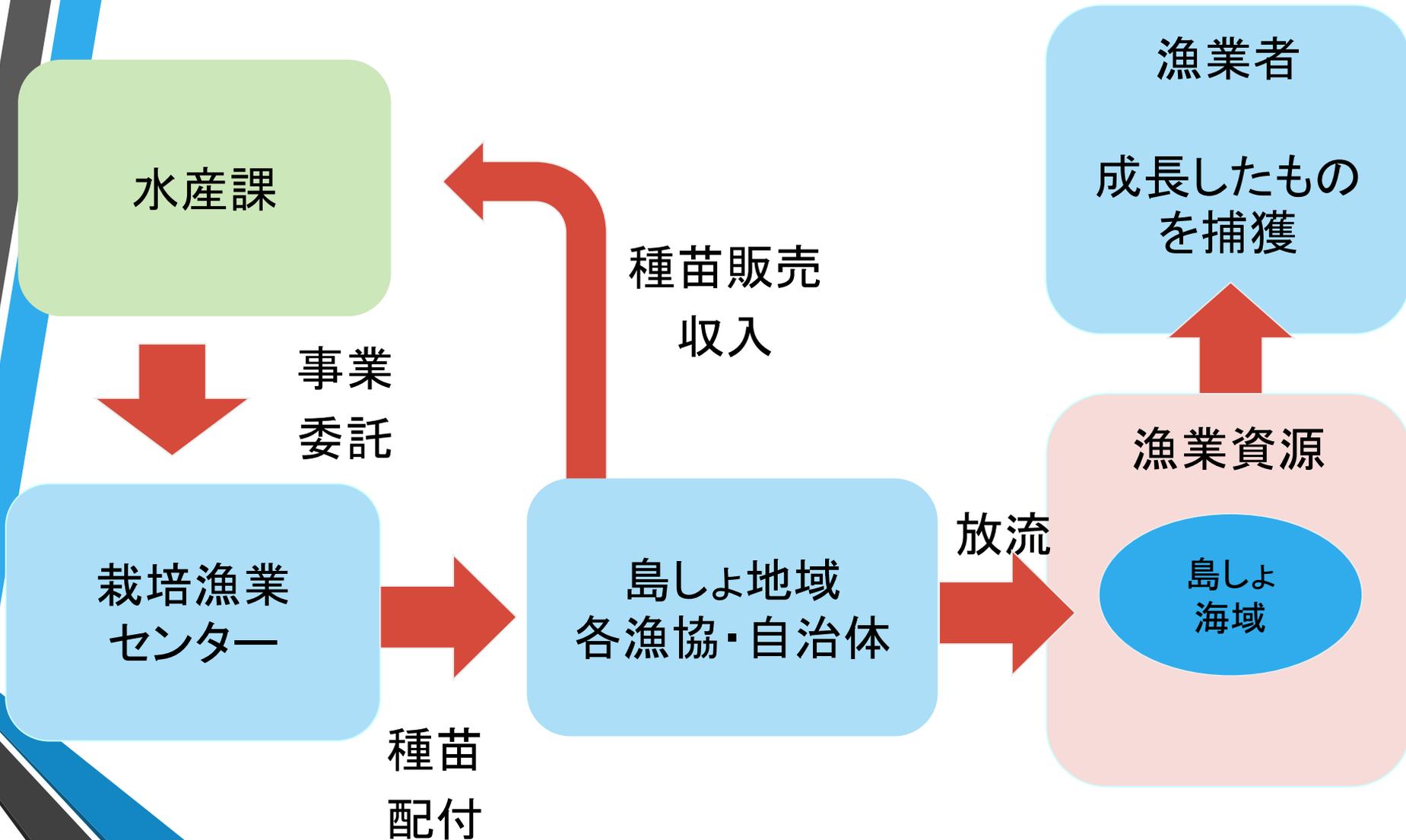


栽培漁業センター(大島町元町和泉)

アワビ・フクトコブシ・サザエの種苗生産・配付



事業の仕組み



種苗生産計画（平成31年度）



アワビ稚貝

配付数量 116千個

他に2年貝（試験配付用） 5万個 配布



サザエ稚貝

配付数量 462.5千個



フクトコブシ稚貝

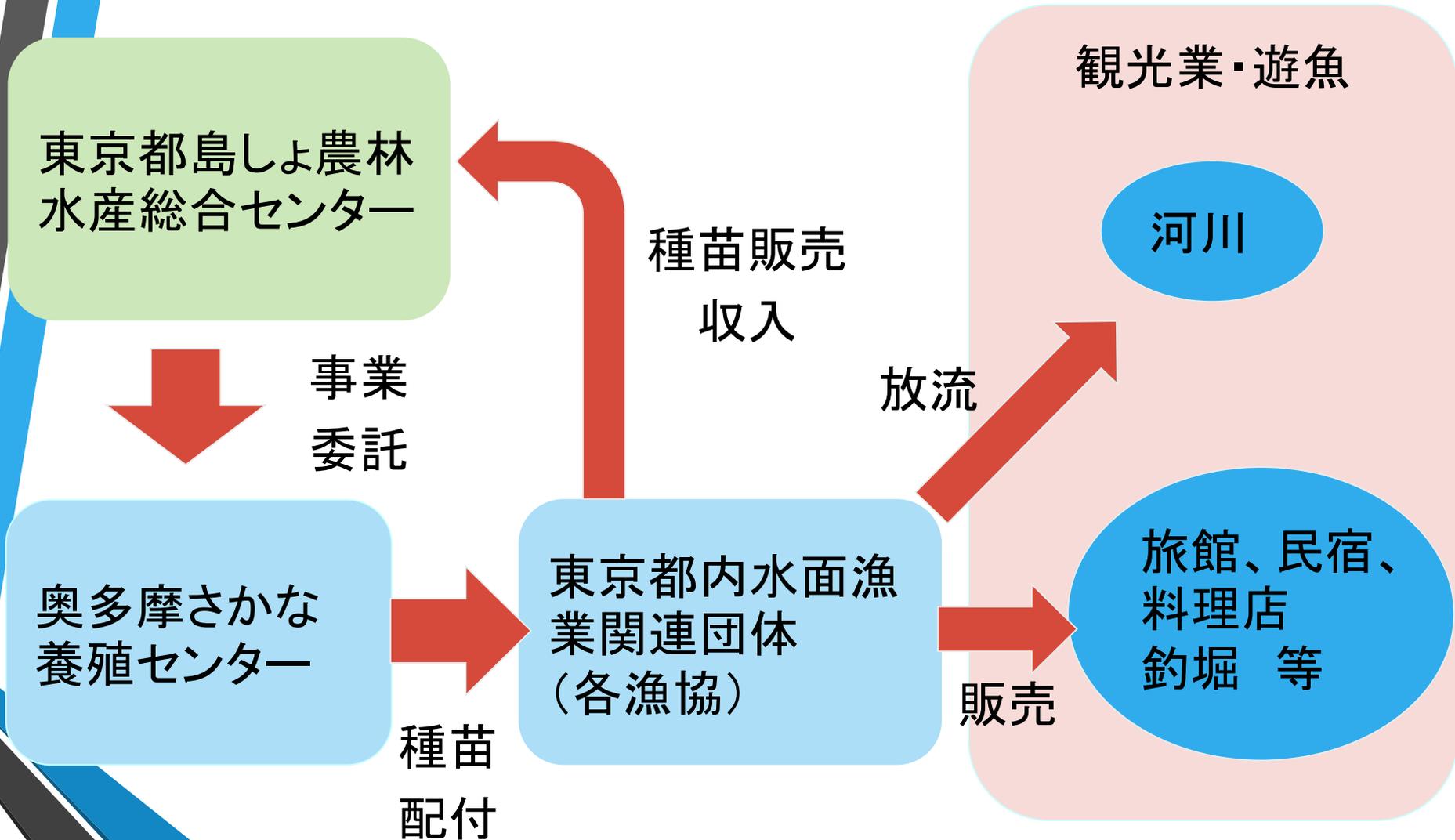
配付数量 215千個

奥多摩さかな養殖センター (都受託事業)

1. マス類の優良種苗（発眼卵・稚魚）の生産・配付
2. 試験研究（魚病診断・優良種苗育成等）
3. 養殖技術指導
4. マス類の販路拡大に係る技術開発と普及指導



事業の仕組み



種苗生産業務のながれ

奥多摩さかな養殖センター

海沢飼育池

親魚養成

採卵

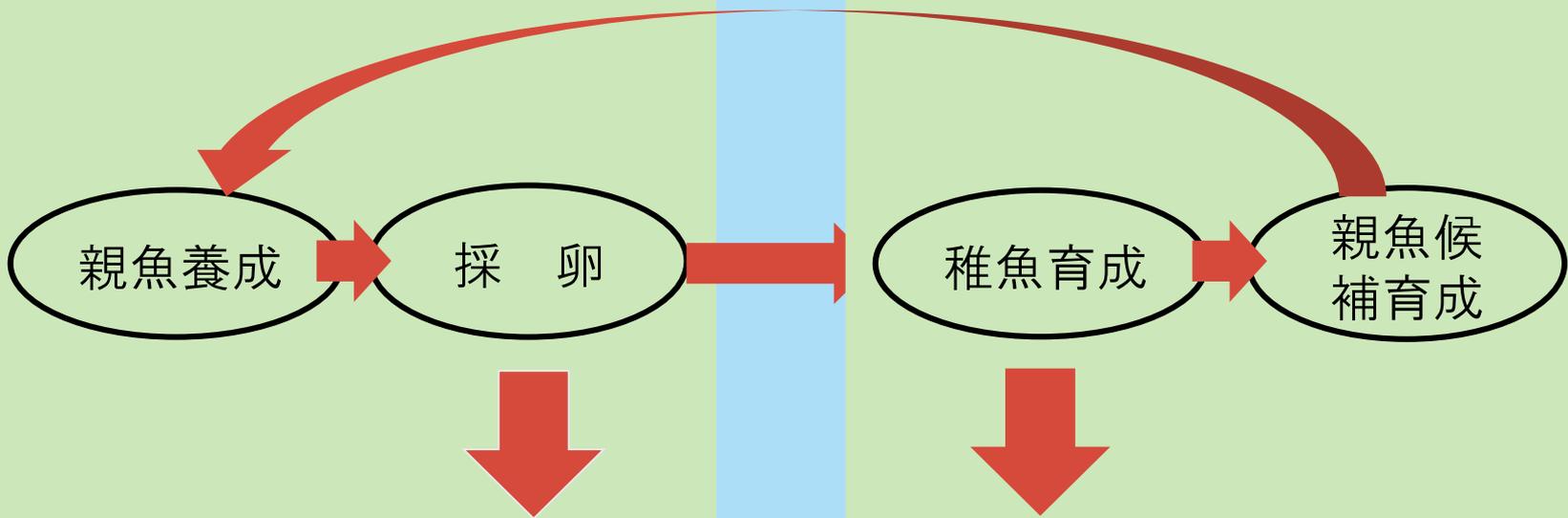
配付
(発眼卵)

入川飼育池

稚魚育成

親魚候
補育成

配付
(稚魚)



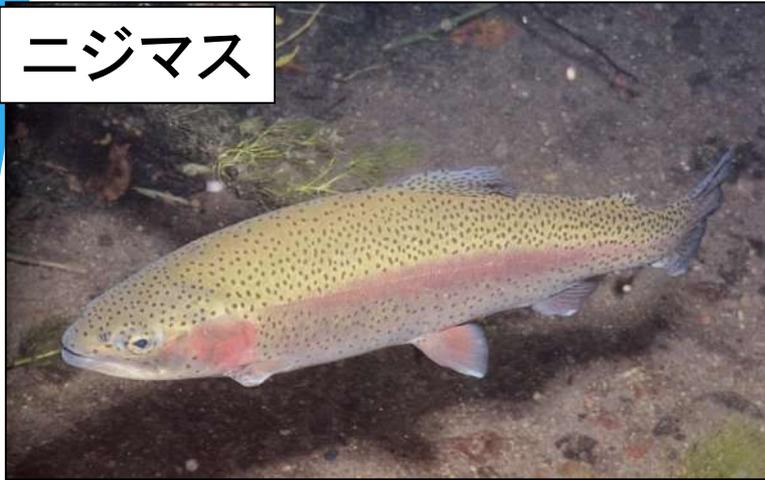
種苗配付計画（H31年度）

（単位：稚魚＝千尾、発眼卵＝千粒）

種苗の種類	配付数 （歳入対象種苗）	（配付数内訳）		
		放流用 （河川漁協）	養殖用 （養殖漁協）	
ニジマス	発眼卵	210	140	70
	春稚魚	50	-	50
	秋稚魚	200	200	-
ヤマメ	発眼卵	1,000	240	760
	春稚魚	200	155	45
	秋稚魚	45	45	-
全雌三倍体ヤマメ	発眼卵	90	-	90
	稚魚	20	-	20
	成魚	-	-	-
イワナ	発眼卵	101	50	51
	稚魚	10	5	5

さかな養殖センターで生産するマス類

ニジマス



ヤマメ



多摩川産

イワナ



日原川産

奥多摩やまめ
(全雌三倍体ヤマメ)



奥多摩やまめ（全雌三倍体ヤマメ）

【特徴】

- ・全て雌
- ・成熟しない
- ・寿命が長い(4年以上)
- ・大型化する(2kg程度)



手前：通常のヤマメ
奥：奥多摩やまめ

【食材特性】

- ・用途が広い
- ・身質が安定

養殖の作業

熟度鑑別



採卵



検卵



池掃除



青梅畜産センター事業（都補助事業）

【主な業務内容】



（青梅庁舎）

種豚、種鶏の生産配付
原種豚、原種鶏の維持改良
畜産農家（養豚、養鶏）への技術指導
家畜とのふれあい
青梅庁舎の再編整備



トウキョウ X

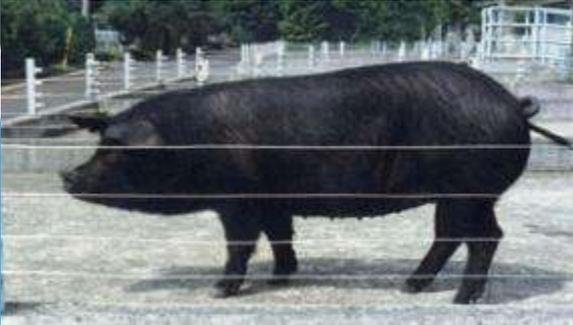


東京しゃも



東京うこっけい

トウキョウ X



北京黒豚
(良質な脂肪)



バークシャー
(筋繊維の細かさ)



デュロック
(脂肪交雑・増体の良さ)

平成2年～9年

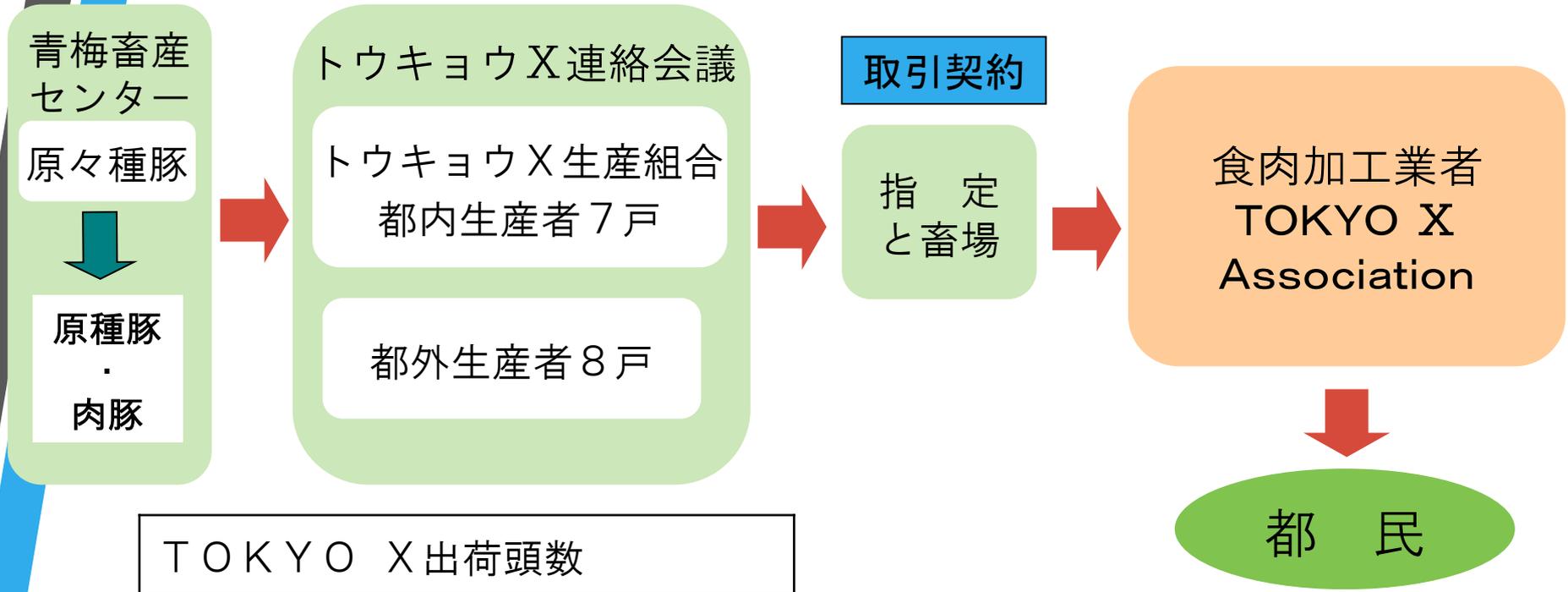
5世代

【系統名】
トウキョウ X



風味・味わい
脂肪の質の良さ

トウキョウ X の流通



T O K Y O X 出荷頭数	
H 2 6	7, 4 4 8
H 2 7	8, 1 2 8
H 2 8	8, 2 4 7
H 2 9	9, 5 6 7
H 3 0	1 0, 1 4 6

独自の生産流通体制を確立

生産拡大(指導体制強化及び新規農家の開拓)

東京しゃもの流通

青梅畜産センター

交配様式

軍鶏(純系)♀



軍鶏(純系)♂



二元交雑種♀



東京しゃも初生ひな



ロードアイランドレッド♂

歯ごたえがあり、脂肪が少なく
こくのある食感

東京しゃも生産組合
生産農家



食鳥
処理場

指定卸問屋



小売店・料理店



都民

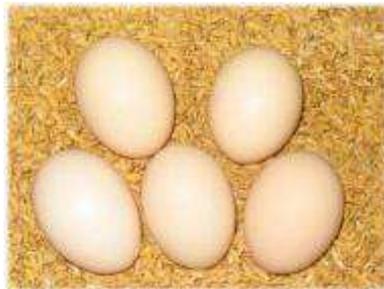
青梅畜産センター

東京うこっけい



産卵率の改良
産卵数が年間190個程度に向上
(通常の烏骨鶏は年間50~80個)

薬学書とともに日本に伝来、肉・内臓・卵の効能が記載



高い販売単価



産卵能力が低下した鶏の肉利用



ケーキ・プリン
などの原材料



東京うこっけいハム

青梅畜産センター

配付実績と計画

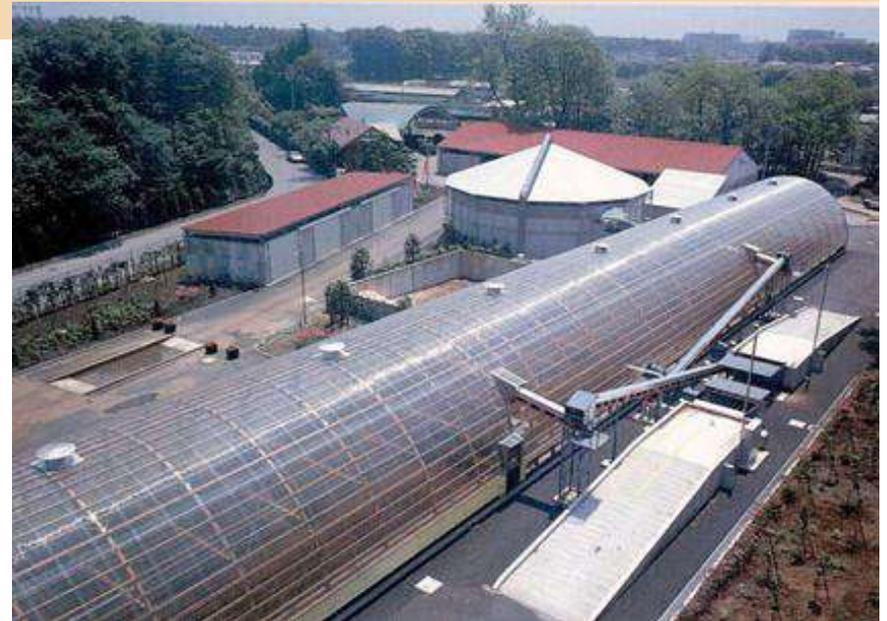
			29年度	30年度	31年度 (計画)
トウキョウX	種豚(♀)	95	85	60	120
	種豚(♂)	34	18	20	40
	肉豚	309	364	347	300
東京しゃも		24,936	27,658	28,632	24,000
東京うこっけい		13,373	13,993	14,264	14,000

(頭、羽)

有機農業堆肥センター事業 (都補助事業)

主な業務

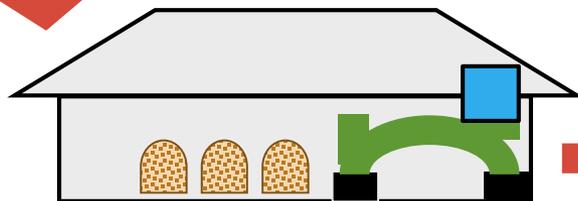
- 有機農業に取り組む都内生産者を支援するため、「土づくり」に不可欠な優良堆肥の生産とその販売
- 堆肥製造に関する情報の提供・技術指導等



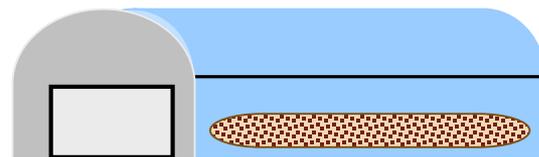
堆肥化の工程

家畜ふん
(青梅庁舎、近隣酪農家)

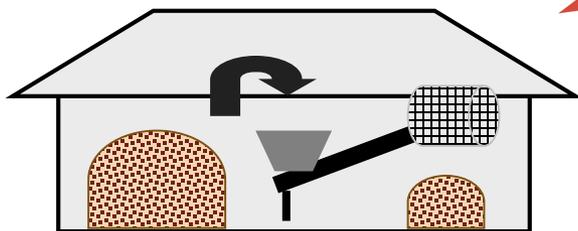
剪定枝チップ
(事業者)



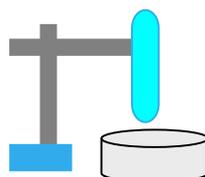
自走式攪拌機による
堆肥化(約20日間)



横型ロータリー発酵槽
による堆肥化(約20日間)



堆肥の追熟(約20日間)
その後、ふるいがけ



成分分析
植害試験

出荷



生産堆肥の販売

- 毎月10日に電話で予約受付
- 堆肥センターでの対面販売
- 堆肥の適正な使用に関する普及啓発(情報提供・意見交換等)

販売形態：バラ積み（100kg単位）等
価格：100kg当たり700円

自走式攪拌機による堆肥化



かまぼこ型の山を作り、定期的に自走式攪拌機で
切り返しをして発酵を促進する

横型ロータリー式発酵槽による堆肥化



この発酵槽で二次発酵させる

堆肥の追熟とふるいかけ



追 熟



大きなチップ等を除去して
完熟堆肥の完成

堆肥供給実績と計画

(単位:t)

年度	26	27	28	29	30	31 計画
供給量	437.0	396.8	379.3	399.7	407.5	392.0